

平成24年行政事業レビューシート

厚生労働省

事業名	治療と職業生活の両立等の支援対策事業	担当部局庁	労働基準局安全衛生部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始	担当課室	労働衛生課	椎葉 茂樹			
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定	施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号	関係する計画、通知等	平成24年度厚生労働省提言型仕分け(提言2)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	職場環境等の複雑化や労働者の高齢化等に伴い、業務条件や作業環境が長期にわたり発症や憎悪の要因となる作業関連疾患の予防のための労働者の健康管理や、疾病を持つ労働者の通院や治療と仕事の両立のための支援体制は課題である。そこで、本事業は、事業場における作業関連疾患をもつ労働者の職場環境整備や就労支援対策を推進するための支援を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業は、労働者の治療と職業生活の両立支援について、長期にわたる治療等が必要な作業関連疾患等の疾病を抱えた労働者の就労継続に関する事例の収集及び就労継続のあり方に関する検討を行うとともに、就労継続支援の手引きを作成する。 また、実態を踏まえ就労継続の取組に関する事例集や指針を作成し、広く関係者に周知することにより、長期にわたる治療等が必要な作業関連疾患等の疾病を抱えた労働者が就労を継続するための支援対策を推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					13
		補正予算					
		繰越し等					
		計					13
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	ヒアリング等の結果を踏まえ、長期にわたる治療等が必要な作業関連疾患等の疾病を抱えた労働者の就労継続のあり方を検討し、就労継続支援の手引きを作成し、事業場等に周知する。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	長期にわたる治療が必要な疾病を抱えた労働者の就労継続に関する医療機関や事業場等の取組に関するヒアリングを仕様書に定める回数以上行う。	活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
単位当たりコスト	(円/回)	算出根拠 単位当たりコスト=ヒアリングに係る支出予定額/ヒアリングの実施回数 ヒアリングに係る支出予定額 ヒアリングの実施回数					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	情報収集(ヒアリング等)	—	7.3				
	事業実施試飲会	—	2.6				
	手引き作成	—	1.1				
	管理費	—	1.1				
	消費税	—	0.6				
	計		12.7				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・労働者の健康管理の促進は、国民全体の健康で活力ある社会の実現のために不可欠であるとともに、今後の労働力人口の今後急速な減少が見込まれることから、労働者が長年にわたり健康に働ける体制の整備は重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	・労働安全衛生法第71条に基づき、労働者の健康の保持増進に関する措置の適切かつ有効な実施を図るための必要な援助として、国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・実態に即した手引きを作成するため、ヒアリング等による情報収集を実施するとともに、実施委員会を開催し、有識者等による協議を踏まえて、手引きを作成する。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	・初年度のため経年的な評価はできないが、成果目標は、事業の質を問うものであり妥当であるとともに、成果は、目標達成している。
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	・類似事業はない。
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	・ヒアリング等の結果から作成された手引きを、関係機関に対し広く周知する。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>長期にわたる治療等が必要な作業関連疾患等の疾病を抱えた労働者が就労を継続するための支援対策を推進する事業であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					